

五輪控え埼玉県南上空に

「航空機」騒音と身の危険

来年(二〇二〇年)3月から羽田空港への着陸ルートが変更されるようとしています。変更後は、南風の時に1000mくらいの高さでさいたま市上空を午後3〜7時に飛びます。岩槻方面から緑区に入り、国道四六三号線(浦越線)に沿って東から西へ、市役所付近で南へ旋回、都心を降下しながら羽田空港に着陸します。

さいたま市は見直しを国に求めることは拒否しつつ、「市民の不安がある」ことは認めました。市は私の質問のたびに教室型説明会の開催、試験飛行の早期実施、騒音・大気汚染測定などを国に求めています。安倍政権は実行しようとしません。

外国人観光客

「呼び込み」

「一時間に一四本(4〜5分ごと)、私たちの頭の上を旅客機が飛びます。ここで心配になるのが落下物、騒音、大気汚染です。特に近年、旅客機の落下物による事故が多くなっています。私も昨年の代表質問や先日のまちづくり委員会で着陸ルートの見直しを国に求めよと繰り返してきてきました。

都内の区議会で計画見直し決議も上がるなど、反対の声が強くなっています。安倍政権は着陸ルート変更の理由を「外国人観光客が増えるから」と言いますが、だからといって国民の安全や住環境を壊していいことにはなりません。あらゆる場面で国民の命や安全を踏みにじる安倍政権の姿がここにも表れています。政治を変えなければとの思いを強くしています。

市議会議員

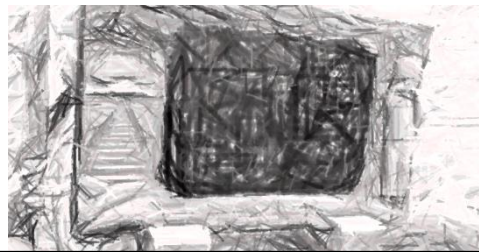
松村としお

戦争しない願い込め

雑誌や新聞紙上に、日本全国に18の憲法九条ノ前文の記念碑があり、沖縄に7、本州に11だと紹介されています。私の生まれ育った故郷、長野県中野市に2ヶ所の石碑の紹介がありました。今年5月に兄弟の集まりで、湯田中温泉に一泊の機会のついでに足を延ばして、九条の碑の紹介があった中野市の谷巖寺(こくがんじ)に行きました。中野市谷巖寺は高山のすそ野、登山道入り口の駐車場の一角に憲法九条の石碑。戦争中には東京の児童の集団疎開を受け入れの記念石碑が本堂後ろに祀られていました。地元では桜の名所のお寺として知られたお寺とのことでした。

投稿TK

谷巖寺の九条の石碑



足立区寺地国民学校集団疎開碑

緑区の歴史的遺産コーナー

②9 見沼代用水

世界かんがい施設遺産登録の機会に「見沼代用水」全体を地図で記載



9月5日毎日新聞記事を参考に掲載

世界かんがい施設遺産

「見沼代用水」登録(埼玉県内初)

国際かんがい排水委員会(本部・インド)は4日、歴史的価値のあるかんがい施設を認定する「世界かんがい施設遺産」に、行田市やさいたま市など県内15市2町を流れる「見沼代用水」を登録した。県内からの選出は初めて。300年近く使用されていることや、用水路を河川の下に通すなどの高い技術力を評価した。

見沼代用水は江戸時代、米の増産を目的に、大野元裕知事は「喜ばしく思う。今後農業や地域の発展に大きく寄与すること」を期待しますとのコメントを出した。

將軍・徳川吉宗に命じられた役人の井澤惣兵衛が永が整備した用水路で1728年から利用されている。総延長は約80キロで、利根川大堰から取水し、県東部の約1万1000haの農業用水を供給している。